

## メキシコ政治情勢（3月）

### 〔概要〕

#### 【内政】

- 1日、「エル・フィナンシエロ」紙が、大統領支持率等に関する世論調査結果を発表。ロペス・オブラドール大統領の支持率は、前月比2%増加。
- 3日、「エル・フィナンシエロ」紙が、政党別支持率等に関する世論調査結果を発表。与党国家再生運動（MORENA）の支持率は、前月比6%増加。
- 9日、電力産業法改正が連邦議会で可決。
- 10日、大麻合法化法が連邦下院で可決（上院に送られ、再審議）。
- 16日、レフォルマ紙が、汚職に関する世論調査結果を発表。
- 18日、墨外務省が、南北国境の陸路移動を制限する新たな措置を発表。
- 19日、国家移住庁が、南部国境における未成年移民保護強化を開始。
- 26日、ロペス・オブラドール大統領が、炭化水素資源法改正案を連邦議会に提出。
- 30日、ロペス・オブラドール大統領が、施政報告演説。

#### 【外交】

- 1日、墨米首脳会談が開催（オンライン形式）。
- 5日、気候変動に関する墨米政府高官協議が開催（オンライン形式）。
- 7～12日、国連刑事司法会議（京都コンGRES）開催。デルガド外務次官他がオンライン出席。
- 11日～、カンシノ社（中国）の抗新型コロナウイルス・ワクチンの活性物質がメキシコに到着。
- 11日、メキシコ・タイ二国間政策協議が開催。
- 16日、ラ米カリブ諸国共同体（CELAC）中国局長間協議が開催。
- 19日、米国政府、アストラゼネカ社製ワクチンのメキシコへの提供を発表。
- 23日、米国国土安全保障省高官が来墨、移民問題に関する二国間協議が開催。
- 23～25日、アルセ・ボリビア大統領他がメキシコを公式訪問。首脳会談、外相会談開催。
- 24日、CELAC災害対策セミナーが開催（オンライン形式）。
- 29～31日、ジェンダー平等等に関する「ジェネレーション・イクオリティ・フォーラム」が開催（ハイブリッド形式）。

#### 【内政】

##### 1 大統領支持率等に関する世論調査結果発表

1日付エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率、新型コロナウイルス感染症対策他に関

する世論調査結果を発表した。2月12～13日及び25～26日に有権者各500名を対象に電話調査形式で実施。誤差±3.1%。※を付した質問は、12～13日に実施。今次調査において、「ロ」大統領の支持率は前月比2%増加。

(1) ロペス・オブラドール政権の以下の事項への取組をどのように評価するか。

ア ワクチンの購入

- ・とても良い、又は良い：46% (前回(1月、以下同じ)39%)
- ・とても悪い、又は悪い：30% (前回36%)

イ ワクチンの管理

- ・とても良い、又は良い：46% (前回37%)
- ・とても悪い、又は悪い：27% (前回37%)

(2) 以下の「ロ」大統領に期待される特質について好評価するか。

ア 誠実さ：52% (前回(12月、以下同じ)57%)

イ リーダーシップ：46% (前回46%)

ウ 結果を出す能力：45% (前回45%)

(3) 「ロ」大統領の取組を支持するか。

ア 支持する：63% (前回(1月、以下同じ)61%)

イ 支持しない：35% (前回36%)

(4) 各分野における「ロ」政権の取組をいかに評価するか。

ア 保健分野

- ・とても良い、又は良い：42% (前回34%)
- ・とても悪い、又は悪い：38% (前回39%)

イ 経済分野

- ・とても良い、又は良い：30% (前回28%)
- ・とても悪い、又は悪い：49% (前回45%)

(5) 墨米関係をいかに評価するか。※

ア とても良い、又は良い：51% (前回47%)

イ とても悪い、又は悪い：10% (前回13%)

(6) ジョー・バイデン(米国大統領)をいかに評価するか。※

ア とても良い、又は良い：55% (前回47%)

イ とても悪い、又は悪い：13% (前回11%)

(7) フェリックス・サルガド氏のゲレロ州知事候補指名を如何に評価するか。※

(当館注：サルガド氏は、与党・国家再生運動(MORENA)公認候補としてゲレロ州知事選に立候補した元アカプルコ市長。MORENAの公認に関しては、同氏が過去に行ったとされる性的な暴力や嫌がらせの告発等に基づく批判が広く存在する。また、3月下旬に国家選挙機構(INE)から同氏の立候補要件の充足につき疑義が呈され、選挙裁判所の審査結果が待たれている。)

ア 良い。MORENAには公認候補を選ぶ権利がある：27%

イ 悪い。性的暴力の告発について明確にすることが先である：62%

(8)「ロ」大統領は、サルガド候補の指名について以下の発言を行っている。

各発言について、如何に評価するか。※

ア 「Ya chole」(当館注：「もうたくさんだ」の意の当地スラング)

・良い：18%

・悪い：51%

イ 「協定を壊せとの考えは、外国から輸入され模倣されたものである」

(当館注：ここで言う「協定」とは、男性同士の間で性的な暴力や嫌がらせの告発を軽視し、家父長的な社会的関係性から便宜を図ることを指す。当地フェミニスト活動家、有名女優等は、「ロ」大統領が「サ」候補とかかる「協定」を結んでいると批判している。)

・良い：19%

・悪い：46%

(9)「ロ」大統領は、女性に対してどれほど敬意を払っていると思うか。※

(全体、女性回答者、男性回答者の順)。

・大いに敬意を払っている、又は敬意を払っている：68%、67%、69%

・全く敬意を払ってない、又は少ししか敬意を払っていない：30%、31%、28%

## 2 政党別支持率等に関する世論調査結果発表

3日付エル・フィナンシエロ紙は、6月の連邦議会下院議員選挙における投票意思に関する世論調査結果を報じた。2月12～13日及び2月25～26日に有権者各500名を対象に電話調査形式で実施。誤差±3.1%。今次調査において、与党国家再生運動(MORENA)の支持率は前月比6%増加。

(1) 連邦下院議員選挙が本日举行される場合、いずれの政党に投票するか。

・MORENA：44% (前回(1月、以下同じ)38%)

・国民行動党(PAN)：10% (前回11%)

・制度的革命党(PRI)：10% (前回10%)

・民主革命党(PRD)：3% (前回3%)

・分からない、またはいずれの政党も支持しない：29% (前回33%)

(2) 連邦下院議員選挙が本日举行される場合、いずれの政党に投票するか。

(性、年齢、学歴、居住地域、ワクチン管理に対する評価等グループ別の結果)

ア 性別

(ア) 男性

・MORENA及び与党連合：43% (前回39%)

・PAN・PRI・PRD (野党連合)：25% (前回21%)

(イ) 女性

- ・ MORENA及び与党連合：48%（前回41%）
- ・ PAN・PRI・PRD（野党連合）：18%（前回24%）

イ 年齢別

(ア) 18～29歳

- ・ MORENA及び与党連合：41%（前回27%）
- ・ PAN・PRI・PRD（野党連合）：18%（前回28%）

(イ) 30～49歳

- ・ MORENA及び与党連合：44%（前回42%）
- ・ PAN・PRI・PRD（野党連合）：27%（前回27%）

(ウ) 50歳以上

- ・ MORENA及び与党連合：53%（前回50%）
- ・ PAN・PRI・PRD（野党連合）：17%（前回17%）

ウ 学歴別

(ア) 初等教育卒

- ・ MORENA及び与党連合：52%（前回45%）
- ・ PAN・PRI・PRD（野党連合）：19%（前回21%）

(イ) 中等教育卒

- ・ MORENA及び与党連合：41%（前回33%）
- ・ PAN・PRI・PRD（野党連合）：27%（前回32%）

(ウ) 大学卒

- ・ MORENA及び与党連合：43%（前回34%）
- ・ PAN・PRI・PRD（野党連合）：19%（前回26%）

エ 居住地域別

(ア) 北部（バハカリフォルニア州、南バハカリフォルニア州、コアウイラ州、  
チワワ州、ドゥランゴ州、ヌエボレオン州、サンルイス・ポトシ州、シナロア州、  
ソノラ州、タマウリパス州、サカテカス州）

- ・ MORENA及び与党連合：33%（前回31%）
- ・ PAN・PRI・PRD（野党連合）：22%（前回29%）

(イ) 中西部（アグアスカリエンテス州、コリマ州、グアナフアト州、ハリスコ州、  
ミチョアカン州、ナジャリット州、ケレタロ州）

- ・ MORENA及び与党連合：45%（前回45%）
- ・ PAN・PRI・PRD（野党連合）：27%（前回22%）

(ウ) 中部（メキシコ市、メキシコ州、イダルゴ州、モレロス州、プエブラ州、  
トラスカラ州）

- ・ MORENA及び与党連合：47%（前回34%）

- ・ P A N ・ P R I ・ P R D (野党連合) : 2 1 % (前回 2 9 %)
- (エ) 南部 (カンペチェ州、チアパス州、ゲレロ州、オアハカ州、キンタナ・ロー州、タバスコ州、ベラクルス州、ユカタン州)
- ・ M O R E N A 及び与党連合 : 6 5 % (前回 5 4 %)
- ・ P A N ・ P R I ・ P R D (野党連合) : 1 5 % (前回 1 4 %)
- オ 政府の抗新型コロナ・ワクチン管理への評価及び同ワクチンへの信頼姿勢別
- (ア) 政府のワクチン管理をととも良い、又は良いと評価する者
- ・ M O R E N A 及び与党連合 : 6 4 %
- ・ P A N ・ P R I ・ P R D (野党連合) : 1 1 %
- (イ) 政府のワクチン管理をととも悪い、又は悪いと評価する者
- ・ M O R E N A 及び与党連合 : 2 5 %
- ・ P A N ・ P R I ・ P R D (野党連合) : 3 5 %
- (ウ) 抗新型コロナウイルス・ワクチンをととも信頼する、又は信頼する者
- ・ M O R E N A 及び与党連合 : 5 0 %
- ・ P A N ・ P R I ・ P R D (野党連合) : 1 9 %
- (エ) 抗新型コロナウイルス・ワクチンを全く信頼しない、又はあまり信頼しない者
- ・ M O R E N A 及び与党連合 : 2 6 %
- ・ P A N ・ P R I ・ P R D (野党連合) : 3 7 %

### 3 電力産業法改正が連邦議会で可決

9日、連邦議会で可決成立した改正電力産業法（電力市場におけるCFE（電力公社）のプレゼンスを強化するための様々な内容を含む）が、官報に掲載された。同法をめぐっては、企業等が裁判所に対しAMPARO（憲法権利訴訟）を提訴し、本差し止めの判断が示されている事例がある。

### 4 大麻合法化法案が連邦議会両院で可決

昨年11月に連邦議会上院で可決されていた大麻合法化法案を、10日、下院が賛成多数で可決した。自宅内及び産業形態での大麻の栽培及び販売、18歳以上の娯楽用の消費が可能となる見通し。上院で可決された内容に、下院が栽培用ライセンスの発行、登録業務、過料の決定、適用を行うとされた「大麻規制・制御機構」の設立文言の削除、個人的消費及び栽培（個人の自宅では6～8植の栽培まで可能）のためのライセンス登録が年次更新の形で義務化する等の修正を加えたため。同改正内容は上院に戻され、再度審議されている。

下院における議論では、保健省の下部機関である国家反依存症委員会（CONADICT）により、既に「大麻規制・制御機構」の役割は果たされているとされ、同機構の創設は行われないこととなった。なお、上院による再可決が行われた後も、本法案の実施に向けたCONADICTの体制整備等のため、施行には一定の猶予期間が設けられると見られる。

## 5 汚職に関する世論調査結果発表

16日、レフォルマ紙は、「ロ」政権の汚職との闘い、政治関係者の汚職状況等に関する世論調査結果を報じた。3月4～10日に有権者1,500名を対象に訪問調査形式で実施。誤差±3.7%。

(1) 以下の人物を、腐敗していると思うか、誠実と思うか。

ア 連邦下院議員

- ・腐敗している：75%
- ・誠実である：11%

イ 連邦上院議員

- ・腐敗している：73%
- ・誠実である：11%

ウ 居住州の知事（首都（メキシコ市）の場合、市長）

- ・腐敗している：63%（前回（2019年、以下同じ）55%）
- ・誠実である：23%（前回 25%）

エ 居住自治体首長

- ・腐敗している：62%（前回49%）
- ・誠実である：22%（前回32%）

オ 共和国大統領

- ・腐敗している：34%（前回22%）
- ・誠実である：53%（前回64%）

(2) どの政党が、最も腐敗していると思うか。

ア 制度的革命党（PRI）：37%

イ 国家再生運動（MORENA）：10%

ウ 国民行動党（PAN）：8%

エ 全て：37%

オ どの政党にも腐敗は無いと思う：1%

(3) メキシコでは、如何なる頻度で汚職関連の活動が行われていると思うか。

ア とても頻繁に行われていると思う：43%（前回50%）

イ 頻繁に行われていると思う：46%（前回36%）

ウ あまり頻繁には行われていないと思う：7%（前回8%）

エ ほとんど行われていない、又は決して行われていないと思う：2%（前回4%）

(4) 直近12カ月間で、メキシコにおける汚職は増加したと思うか、減少したと思うか。

ア 増加した：49%（前回46%）

イ 変わらない：27%（前回27%）

ウ 減少した：22%（前回23%）

- (5) 「ロ」政権の汚職との闘いを如何に評価するか。
- ア とても良い、又は良い：43%（前回70%）
  - イ 普通：26%（前回16%）
  - ウ とても悪い、又は悪い：29%（前回12%）
- (6) 汚職を告発することには意味がないと思うか。
- 意味がないと思う：67%（前回62%）
- (7) 現政権は、あらゆる者に法を平等に適用していると思うか、一部を特別扱いしていると思うか。
- ア あらゆる者に法を平等に適用していると思う：28%（前回（2020年）19%）
  - イ 一部を特別扱いしていると思う：67%（前回（2020年）75%）
- (8) メキシコが抱える最大の課題はいずれか。
- ア 治安：32%（前回（2019年、以下同じ）55%）
  - イ 保健、新型コロナウイルス感染症：18%（前回質問なし）
  - ウ 汚職：13%（前回17%）
  - エ 失業：13%（前回7%）
  - オ 経済：11%（前回7%）
  - カ 貧困：3%（前回5%）
  - キ その他：10%（前回5%）
- (9) 次の組織には、汚職が蔓延していると思うか（思うと答えた割合）。
- ア 政党：76%（前回78%）
  - イ 交通警察：73%（前回73%）
  - ウ 刑務所：72%（前回71%）
  - エ 検察：68%（前回66%）
  - オ 連邦警察：62%（前回59%）
  - カ 石油公社（PEMEX）：59%（前回68%）
  - キ 選挙当局：58%（前回61%）
  - ク 最高裁判所：53%（前回54%）
  - ケ 判事：53%（前回質問なし）
  - コ 電力公社（CFE）：49%（前回50%）
  - サ 大企業：48%（前回47%）
  - シ メディア：40%（前回44%）
  - ス 社会保険庁（IMSS）：36%（前回39%）
  - セ 国家公務員共済庁（ISSSTE）：29%（前回33%）
  - ソ 国家警備隊：29%（前回27%）
  - タ 国家保健福祉機構（INSABI）：28%（前回質問なし）
  - チ 公立学校：27%（前回28%）

- ツ 陸軍：26%（前回27%）
- テ 小規模商業者：21%（前回質問なし）
- ト 海軍：21%（前回19%）

(10) 以下の出来事を知っていたか、真実と思うか、虚偽と思うか。

ア バルトレットCFE総裁の息子がIMSSに人工呼吸器を不適正（過剰な）価格で販売した。

- ・知っていた：39%、知らなかった：61%
- ・真実と思う：48%、虚偽と思う：17%

イ 「ロ」大統領の弟が、2018年大統領選挙戦のため現金を受け取った。

- ・知っていた：38%、知らなかった：62%
- ・真実と思う：46%、虚偽と思う：22%

ウ 「ロ」大統領の従姉妹がPEMEXと数百万ペソの契約を結んでいた。

- ・知っていた：32%、知らなかった：68%
- ・真実と思う：41%、虚偽と思う：22%

エ 「ロ」大統領の弟が所有するスタジアムの修繕費に、連邦政府から8,900万ペソが充当された。

- ・知っていた：25%、知らなかった：75%
- ・真実と思う：34%、虚偽と思う：27%

オ 「ロ」大統領の秘書が、2018年大統領選挙キャンペーンにおけるイベント及び広告を存在しない「企業」に発注していた。

- ・知っていた：23%、知らなかった：77%
- ・真実と思う：35%、虚偽と思う：27%

(11) 貴方が見聞きした情報によると、メキシコにおける汚職が大幅に少なければ、どのようになっていたと思うか。

ア より多くの国民が抗新型コロナウイルス・ワクチンを接種している。

- ・そう思う：61%
- ・そう思わない：34%

イ 新型コロナウイルス感染症による死者はもっと少なかった。

- ・そう思う：53%
- ・そう思わない：42%

ウ 新型コロナウイルスへの感染者はもっと少なかった。

- ・そう思う：51%
- ・そう思わない：45%

(12) 国家公務員に優先的にワクチンを接種すべきとの考えに賛成か、反対か。

- ア 賛成：37%
- イ 反対：57%

- (13) 貴方が見聞きした情報によると、国家公務員は以下のいずれに該当すると思うか。
- ア 社会プログラムが国民に行き渡るようにする者：45%
  - イ 大統領及び与党の政治的代表者：42%
- (14) 国家透明性・情報アクセス機構（INA I）の取組を支持するか、しないか。
- ア 支持する：39%
  - イ 分からない：42%
  - ウ 支持しない：19%
- (15) INA I が撤廃されることを支持するか、しないか。
- ア 支持する：23%
  - イ 分からない：38%
  - ウ 支持しない：39%
- (16) 高額な維持費用が指摘される INA I を維持すべきか、廃止すべきか。
- ア 必要な機構であり、維持すべき：49%
  - イ 分からない：26%
  - ウ 高額な費用がかさむため、廃止すべき：25%

## 6 墨政府、南北国境の陸路移動を制限する新たな措置を発表

18日、墨政府は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、19日以降、南北国境における不要不急の陸路移動を制限する措置を講じた。北部（米国）陸路国境については、昨年3月以降とられてきた不要不急の移動制限の延長であるが、南部（グアテマラ及びベリーズ）陸路国境でも北部国境と同様の措置が新規にとられることとなった。墨政府は、併せ、南北国境における衛生措置の強化を打ち出した。この移動制限及び衛生措置は、4月21日まで適用される（延長の可能性あり）。

## 7 国家移住機関、未成年移民の保護活動を開始

19日、国家移住機関（INM）は、中米諸国等からの未成年移民が墨国内を通過し米国に向かう道のりにおいて、人身売買の犠牲となる事例が増加していると指摘し、墨南部国境において、これら未成年移民の人権を保護するための活動を開始すると発表。現状の改善を図り、未成年移民を保護するため、スチアテ川（チアパス州太平洋岸付近のグアテマラ国境）他の入境地点で、移民が正規の査証書類等を保持しているかに係る確認を強化するとともに、ドローン、暗視カメラ等の技術を用いて、非正規の入国を監視する。

## 8 ロペス・オブラドール大統領、炭化水素資源法改正案を連邦議会に提出

26日、ロペス・オブラドール大統領は、エネルギー安全保障や主権を保護するために国有企業を強化し、炭化水素資源に対する国による管理の強化することを主な内容とする法改正案を連邦議会に提出した。

## 9 ロペス・オブラドール大統領の政策演説

30日、ロペス・オブラドール大統領は四半期に一度の政策（施政報告）演説を行い、最近の政治運営、社会プログラムの状況、新型コロナウイルス感染症対策（ワクチン調達他）、治安情勢（陸海軍の働きを特に評価）、本年の歴史祝賀事業（独立達成200周年、スペインによるアステカ王国征服500周年、テノチティラン（現メキシコ市）建設700周年）等に言及するとともに、エネルギー・電力分野、インフラ事業等に関する今後の方針を述べた。

### 【外交】

#### 1 墨米首脳会談

1日、墨米首脳会談がオンライン形式で開催され、ロペス・オブラドール大統領とバイデン大統領は、移民に係る協力、墨南部及び中米北部三か国における開発、パンデミック対策、経済協力、汚職との闘い、治安協力、気候変動に対する協力等に関し協議した。「バ」大統領は、米国内の墨系市民のプレゼンスを強調し、オバマ政権時と同様、「バ」政権下では墨米関係を「平等性」を基軸に発展させていきたいと述べた。

#### 2 気候変動に関する墨米政府ハイレベル協議

5日、米国のケリー大統領特使（気候変動問題担当）とエブラル外相による、気候変動に関する墨米ハイレベル協議がオンライン開催され、両国による気候変動に関するロードマップの作成、及び、気候変動を引き起こす汚染物質を削減し、エネルギー改革を推進することの重要性につき協議が行われた。「エ」外相は、本年4月22日に米国主導で開催される気候変動サミットへのメキシコ要人の出席を約した。

#### 3 国連犯罪防止刑事司法会議

第14回国連犯罪防止刑事司法会議（京都 kongress）が、京都でハイブリッド（面会、オンラインの混合）形式で開かれ、メキシコからは、デルガド外務次官（多国間関係・人権担当）他がオンライン出席した。

#### 4 カンシノ社製抗新型コロナウイルスの活性物質が到着

11日、中国からカンシノ社製抗新型コロナウイルス・ワクチン300万ドース分の活性物質が到着した（注：3月26日に200万ドースが追加で到着。3月末時点で計500万ドース分が到着済）。この活性物質は、ケタロ州にある Drugmex 社の工場に移送され、完成形にされる。22日には、メキシコ国内で完成形にされた右ワクチン94万ドースが第1便として供用され、エブラル外相は、自身のツイッター上で中国政府及び在墨中国大使への謝意を発信した。

## 5 メキシコ・タイ二国間政策協議が開催

11日、メキシコとタイは、第4回二国間政策協議をオンライン開催した。同協議は、両国外務省の地域局長がヘッドを務め、両国間の外交関係樹立45周年を祝賀した。また、特に観光、農業、保健、環境分野における二国間協力に関し協議された他、双方は世界経済の回復に向け貿易・投資を促進することの重要性につき一致した。

## 6 CELAC中国局長間協議

16日、グアダラハラ外務省米州地域機構・メカニズム局長（ラ米カリブ諸国共同体（CELAC）メキシコ・コーディネーター）が、CELAC議長国代表として、CaiWei 中国外交部ラ米カリブ局長（CELAC中国コーディネーター）と今後のCELAC中国関係に関するオンライン協議を行った。両者は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより生じた危機における課題及び機会、パンデミック後における関係につき話し合った他、貿易、投資、人的資源、科学及び技術に関連するテーマを扱うより高いレベルの包括的なCELAC中国間協力を達成するために必要な方途及び重点事項の強化を提案した。

## 7 米国政府、抗新型コロナウイルス・ワクチンをメキシコへ提供

19日、墨米両政府は、米政府が墨政府にアストラゼネカ社製抗新型コロナウイルス・ワクチン270万ドースを貸与することで合意した。同社製ワクチンは、米国内で未承認であり、未使用のまま保管されていたもので、3月下旬から4月初にかけてメキシコに到着した。

## 8 移民問題に関する墨米政府ハイレベル協議

23日、米国国土安全保障省のジェイコブソン米国南部国境調整官他高官が来墨し、エブラル外相他との間で移民問題に係る協力を中心に会談した。地域における移民の流れが秩序立った、安全で正規のものとなることを目的とした国際開発協力の進展及び移民協力メカニズムを主題とし、移民の流れの背景にある根本原因を軽減すべく、中米北部の包括的な経済発展を推進するための人道的行動の必要性が強調された。また、特に幼年移民の保護に焦点を当て、人権を保護するための各種メカニズムがとり上げられた。

## 9 メキシコ・ボリビア首脳会談及び外相会談

23～25日、アルセ・ボリビア大統領、マイタ同国外相他がロペス・オブラドール大統領の招待によりメキシコを公式訪問し、特別来賓として「チャカン・プトゥン勝利の日」記念式典（当館注：チャカン・プトゥン戦は、1517年に墨南東部のマヤ民族が大規模に蜂起しスペイン軍を打ち破った戦いとされる。3月25日には、本年の独立達成200周年、スペインによるアステカ王国征服500周年、テノチティラン（現メキシコ市）建設700周年の一環として、カンペチェ州で式典が行われた）に出席し、講演を行った。

24日に行われた両国首脳会談では、戦略的パートナーシップの推進意思を表明し、共通関心事項たる領事・移民分野、経済・通商、技術・科学・文化協力、麻薬密輸・薬物依存対策協力等の二国間メカニズムの再活性化を主な内容とする共同宣言が発出された。また、23日には両国外相会談が開催され、両外相は、戦略的関係を構築すべく二国間関係を活性化するとのコミットメントを再確認した。

#### 10 CELAC災害対策セミナー

24日、メキシコ議長国主導の下、ラ米カリブ諸国共同体（CELAC）の災害対策セミナーがオンライン開催され、CELACメンバー諸国の官民専門家が、現行の地域的災害リスク管理モデルの見直し・改善、地域及び国レベルにおける社会的保護のあり方、感染症の再拡大やその他災害による将来の危機に対する経験・知見の共有、自然災害の防止・被害軽減に向けた協力の拡大等につき話し合った。

#### 11 ジェネレーション・イクオリティ・フォーラム（GEF）

ジェンダー平等、女性の権利拡大に向けた諸国間の協力、官民等関係者間の連携強化を目的とし、国連女性機関（UN Women）が主催、メキシコ、フランス両国政府が共催する国際会議「ジェネレーション・イクオリティ・フォーラム」がメキシコ市でハイブリッド（面会、オンラインの混合）形式で開催され、ロペス・オブラドール大統領、マクロン仏大統領、グテーレス国連事務総長（後二者はオンライン参加）他が出席した。日本からは宇都外務副大臣が、ジェンダー平等に向けた日本の取組を紹介するビデオ・メッセージを送った。

（了）